

# 3

## この条例ができた背景

### 滋賀県の環境をよくしていくために

琵琶湖の水質は、昭和40年代後半から急速に悪化してきました。その第一の原因は家庭からの排水であり、また工業排水や農業排水も汚れの原因となっています。琵琶湖でとれる貝や魚も全体として減り続けています。これまでのままでは水質はよくなることは考えられません。「誰かがやるだろう」ではなく、県民みんなが自分のこととして、できることをする。農業面からも、取り組みが必要です。

### 農業排水の影響は？

滋賀県の農地に使われる水は、地下へ浸透する以外は、ほとんどが排水路や河川を経て琵琶湖へ流れ込みます。そのため、農地で使われた農薬や肥料はごくわずかですが琵琶湖に流れ込むことになります。その水を近畿1,400万人の水源としており、飲料水に使っている滋賀県民も多くいます。

環境こだわり農産物を買うことによりその生産面積が増えると、県内で用いられる農薬や化学肥料が少なくなり、琵琶湖の水を守ることに繋がります。

もちろん、少ない農薬で栽培された野菜や米などの農産物を買う機会が多くなることも私たちにとってありがたいことですよ。

# 4

## 応援してください！ 滋賀の農業

### 農業の多面的機能

農業は、食料を生産するだけでなく、いろんな機能を持っています。例えば電車の窓から見える景色を思い浮かべてみてください。春夏は緑のじゅうたんを敷き詰めたようなすばらしい景観がありますし、秋になれば実りのときですばらしい黄金色の景色が見られるというような、美しい景観を形成していくこともそうです。

農業を皆が支えていかなかったらそのようなものが失われてしまう。農業では食べていけない、もうやっていけないというようなことになってくると、農業をしない田んぼ(放棄田)が増え、植物やそれを食べる動物が変わってくる、水の流れが変わってくる、地下水が減っていくといったいろんな問題も出てきます。

そういった事態にならないよう、消費者も地域の農業を支えていこうとする努力をしてほしいし、農家においても、支えてもらうためには消費者のニーズをきちんととらえていかないといけないのではないのでしょうか。



環境こだわり米の栽培ほ場